

幕張新都心モビリティコンソーシアム 横連携 WG
(第 1 回) 議事要旨

時間： 2022 年 6 月 17 日(金) 15:30～17:00
場所： オンライン開催
出席： イオン株式会社
イオンコンパス株式会社
イオンタウン株式会社
イオンモール株式会社
株式会社ヴァル研究所
NECソリューションイノベータ株式会社
株式会社NTTドコモ千葉支店
京セラコミュニケーションシステム株式会社
京成電鉄株式会社
京成バス株式会社
株式会社建設技術研究所
JFA夢フィールド幕張温泉湯楽の里
株式会社JTBコミュニケーションデザイン
シャープ株式会社
株式会社千葉ステーションビル
東京海上日動火災保険株式会社
日本電気株式会社 千葉支社
ビー・トランセホールディングス株式会社
東日本旅客鉄道株式会社千葉支社
株式会社日立製作所千葉支店
株式会社幕張メッセ
三井不動産株式会社
三井不動産レジデンシャル株式会社
三ツ矢エミタスタクシーHD 株式会社
MONET Technologies 株式会社
神田外語大学
一般社団法人千葉県タクシー協会
公益財団法人日本サッカー協会
幕張ベイタウン自治会連合会
千葉県
千葉市

議題

- (1) これまでの振り返りと今後の体制
- (2) 2021 年度の実証実験報告・調査報告
 - ア. 株式会社NTTドコモ千葉支店 パーソナルモビリティ・MaaS 実証実験
 - イ. 株式会社建設技術研究所 幕張新都心版 MaaS 移動実態調査等業務委託
- (3) 幕張新都心版 MaaS の検討状況について

配布資料

- 資料1 振り返り・体制・スケジュール・目標・PT 参加について
- 資料2 まくはり MaaS 実証事業報告（非公表）
- 資料3 幕張新都心版 MaaS 移動実態調査等業務委託 幕張新都心版 MaaS を見据えた関連データ調査結果報告
- 資料4 幕張新都心版 MaaS の検討状況

議事内容

1. 開会

2. 議題

- (1) これまでの振り返りと今後の体制
 - 千葉市より資料1に沿って説明。
 - 昨年度の取り組み内容や今年度のPT体制案、WGの方向性について説明。
 - モビリティ利活用 PT では回遊性向上に資するコンテンツとモビリティ両輪からの検討を行い、施策の具体化に取り組む。
 - MaaS プラットフォーム PT では幕張豊砂駅開業と同時期の実装を目標とする幕張新都心版 MaaS について検討。また今年度下期実施予定の千葉市補助事業である実証実験内容の練り上げ等に取り組む。
- (2) 2021 年度の実証実験報告・調査報告
 - ア. パーソナルモビリティ・MaaS 実証実験
株式会社NTTドコモ千葉支店より資料2に沿って説明。

【質疑応答】

 - クーポンの利用率が期待通りでなかったとのことだが、どんな点が課題だと分析

されているか。

- 効果測定方法としてクーポン利用だけでなく、店舗訪問数を取得した方が良かったと考えている。また、クーポン利用率については設定していた KPI を達成できなかった。一方で、参加企業にとっては店舗のユーザーへの周知自体が魅力となることも考えられる。常設のクーポンだけでなく店舗の魅力を伝えるページ作りなど、プラットフォームとしての有益性を高めていきたい。
 - 魅力を伝えるという点では、ファーストランディングページへのアクセス数が重要指標と考えている。今回のアクセス数についてはどう考えられているか。
 - ターゲットである住民数を考慮すると、高いアクセス数を達成できた。ただし、来街者へのリーチについては今後検討していく必要がある。
- 今回の実証を総括すると継続すべき点と今後課題になる点はどんなところか。
 - 課題となる点は主に 3 点である。1. AI 運行バスを有償化した際、利用にどんな変化が起こるかを検証する必要がある。2. レコメンド機能による回遊性の向上を企図していたが、若年層はプッシュ通知などへの反応が悪かったため、今後のアプローチ方法が課題である。3. D アカウント以外からログインしたユーザーへの対応も課題である。

イ. 幕張新都心版 MaaS 移動実態調査等業務委託
株式会社建設技術研究所より資料 3 に沿って説明。

(3) 幕張新都心版 MaaS の検討状況について

- 千葉市より資料 4 に沿って説明。
 - 多様なユーザーのニーズに対して最適なモビリティを提供するとともに、エリア内の魅力的なコンテンツを案内し、両サービス利用をシームレスに行うことができる持続可能な都市型 MaaS を目指す。
 - 幕張新都心版 MaaS の実装により、エリア内で抱える移動課題の解決とともに環境、福祉、交通安全等の地域課題解決を目指し、かつエリア内の回遊性向上・賑わい創出を図る。
 - 6 月末～7 月上旬に実証事業者の公募を行う予定。WG 終了後、会員を対象に実証実験の基本的要件に対するアンケート調査を実施する。
 - 本実証は幕張豊砂駅開業と同時期の社会実装を目標として取組み、その後のサービス拡張についても可能とする。

【質疑応答】

- 本サービスのタクシー事業への影響を懸念している。千葉市地域公共交通会議等において、地域におけるタクシーやバスなどの地域公共交通の役割や持続可能性

も踏まえた検討をしていただきたい。

- 千葉市としてご懸念は承知している。実証受託事業者が幕張新都心版 MaaS の実装と併せて導入を想定するサービス内容によっては、既存の公共交通を担う団体との協議を重ねなければならない可能性がある為、各種会議体でも適宜ご相談しながら進めていきたい。

3. 連絡事項

- 事務局より、横連携 WG 会員を対象とした PT への参加方法について説明。また第 1 回 PT の開催に向けた日程調整について後日連絡する旨説明。

4. 閉会

以上